

2009年度3年次編入学試験「実技試験」「小論文」等の採点基準

学科・専攻	実技試験(芸術学科は小論文)		面接		
	狙い・意図、採点のポイント		狙い・意図、採点のポイント	小論文利用	実技試験作品利用
日本画			<ul style="list-style-type: none"> ・50号以上の作品2点以上を提出させた。 ・作品制作の意図及び表現力を求めた。 ・作品に対する総合的な内容を踏まえて判断した。 上記の項目を中心に本学編入学志望の理由、小論文等を参考に面接した。	○	
油 画			当該学年に相当するだけの作品と思考が充実しているか。各自に大学編入後のビジョンはあるか。どのような意図で制作しているか。本学を選んだ理由が明確かどうかなどを問い採点の基準とした。	○	
工 芸			本学の工芸学科を志望する具体的な動機や通常授業に対する表現や技術レベルを押し量り今後の授業に対応することが可能であるか否かを観ると同時に人物から受ける熱意なども合わせて判断する。	○	
グラフィックデザイン	出題のねらいは、デザイナーとしてビジュアルコミュニケーション効果を造り出すのに必要な造形力を求めている。鉛筆デッサンでは、創作の原点ともなる観察力、そこから生まれる発見やひらめきなどを描く描写力を、色彩構成では課題を造形化する発想力と構成力を問う。		<ul style="list-style-type: none"> ・編入学志望理由が明確であるか。 ・授業への取り組みの意欲があるか。 ・持参作品による描写力、色彩・構成力等の基礎的造形力の評価 	○	○
プロダクトデザイン	与えられた材料(ネット)を応用して新しい道具を4種類創造し、スケッチする課題を出題した。出題のねらいは、4種類の道具のアイデアに独創性があるか、そのアイデアをきちんと表現できているかを見るためです。これらの達成度が採点のポイントになっている。		作品のポートフォリオによる面接を行った。面接試験のねらいは、当専攻の1、2年次で修得すべき実技内容をクリアできているかを見ることである。当専攻1、2年レベルのデザイン習熟度が採点のポイントになっている。	—	—
テキスタイルデザイン	テキスタイルデザインを学ぶために必要な基礎的観察力、色彩表現力に加えデザイン力を問うことをねらいとして出題した。また、解答の中に設問に対する解釈と独自の表現が示しているかを採点のポイントとした。		受験者が本専攻の基礎課程(1、2年次)と同等の実力を有しているか、また、3年次からの授業についていけるかどうかを持参作品によって審査した。さらに、口頭および記述によって自分の考えやテキスタイルデザインを学ぶための熱意を明確に説明できるかも評価の対象とし、採点のポイントとした。その際に共通教育の小論文を参考にした。	○	—
環境デザイン	本学一般入試と同レベルのデッサン力があるか。形、空間を把握し、平面上に表現する能力があるか。		在籍中の学校において本学科の1,2年次で学ぶ内容と同等以上の教育を受けているか、また本学科の3年生と同レベルの知識、デザイン力があり、授業についていけるかどうか。学校を変えること、専門分野を変えることに対する目的意識がはっきりしているか。デッサン以外のデザイン力をポートフォリオによって評価。	—	○
情報デザイン 情報芸術コース			本学の情報芸術専攻3学年課程において、独自の作品を創作するのに十分な技術と知識を習得しているか審査した。 <ul style="list-style-type: none"> ・学科、コースの基礎課程相当のスキルや知識があるか ・作品制作の経験、実績があるか ・編入後の目的や目標が明確であるか ・人物評価 	○	
情報デザイン 情報デザインコース			編入の意図や目的が明確であるか、特に、情報デザインを学ぶ目的意識があるか。 学科・コースの教育を理解しているか。 自分の考えを持ち、それを自分の言葉で伝えることができるか。(小論文も参照) デザインについての基礎知識と基本的な表現技術があるか。(作品プレゼンによる。)	○	
芸術			芸術学科で何を研究したいのか、受験生の知的能力や知的関心とその研究を進めていくのに十分なか、 芸術の理論や歴史に関する基礎知識は持っているか、卒業論文を書き上げるのに十分な能力を有するか、などを判断します。	—	

全学科共通小論文

小論文の出題については、全般的に文章の組み立て方、論述の展開、要旨の明確さ等を通じて、自己の思考性の確かさを試すことをねらいとしている。また、美術全般への理解、興味関心の度合いを知ることも併せて目的として出題している。三年次編入では、既に一定の大学教育を受けていることを鑑み、より専門性の高い出題を心掛けている。本学への就学意欲を表現させるようなテーマ設定を工夫している。A(優)90～100点、B(良)70～89点、C(可)60～69点、D(不可)0～59点